

# 城だより

第685号

日本古城友の会・会報

令和8年(2026)1月18日発行

## 日本古城友の会 総会

### 令和7年度の例会(概要報告)

1月19日総会・豊臣大坂城惣構南西部と周辺の史跡めぐり(第735回例会)

総会(午前):大阪市立中央会館 24人参加

豊臣大坂城惣構南西部と周辺の史跡めぐり(午後):案内講師 藤岡秀典氏(当会広報部長)  
現地 25人参加

2月 2日 播磨 三木城秀吉本陣(平井山ノ上付城ほか)(第736回例会)

担当幹事:高菅純子・中西 徹 現地 15人参加

3月 2日 山城 笠置山城(第737回例会)

担当幹事:下岡 力・平川大輔 現地 17人参加

4月 6日 播磨 三木城付城(法界寺山ノ上付城ほか)  
(第738回例会)

担当幹事:中西 徹・平川大輔 現地 17人参加

5月11日 播磨 端谷城・池谷城(第739回例会)

担当幹事:坂本 昇・宮島 茂 現地 22人参加

6月 1日 近江 枝折城・醒井宿(第740回例会)

担当幹事:岸本征剛・下岡力 現地 20人参加

7月 6日 美濃 大垣城(第741回例会)

担当幹事:鶴田圭子・藤岡秀典 現地 28人参加

8月 3日 摂津 ガイドブックに無い大坂城(午前)・  
研究発表会(午後)(第742回例会)

担当幹事:平川大輔・藤岡秀典 現地 午前 37人  
参加・午後 25人参加

9月 7日 丹波 園部城・亀山城(第743回例会)

担当幹事:小川實・高菅純子 現地 24人参加

10月 5日 丹波 福知山城とその城下(第744回例会)

担当幹事:岸本征剛・下岡 力 バスツアー18人参加

11月 2日 因幡 鳥取城・太閤ヶ平(第745回例会) 担当幹事:中西 徹・平川大輔 現地 26人参加

12月 7日 美濃 菩提山城・岩手陣屋(746回例会) 案内講師 中井 均先生(滋賀県立大学名誉教授)  
担当幹事:中西 徹・平川大輔 バスツアー31人参加



(7月例会 大垣城)



(12月例会 美濃菩提山城 大堀切にて)

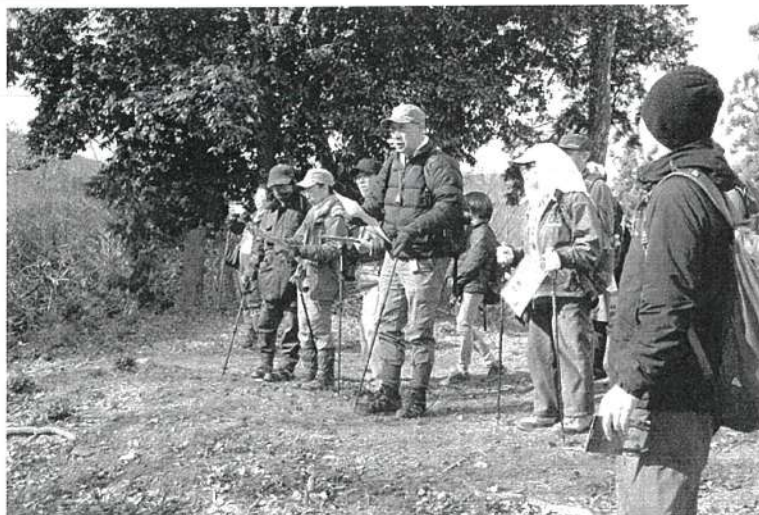
### 2月 播磨三日月陣屋を訪ねる(第748回例会)(総会提出原案)

日 時:令和8年2月8日(日) 現地集合 雨天決行(行程変更あり)

集 合:JR 姫新線三日月駅改札口前 11:00 集合

行 程:JR 三日月駅 ⇒ 陣屋表門 ⇒ 武家屋敷群 ⇒ 三日月陣屋(昼食) ⇒ 旧藩校広業館

見学路を降りる。本来虎口受け下まで堅堀が掘られ、このルートは往時には無かったようだ。『西の曲輪西側にある二条の堅堀とその間に設けられた幾段もの小曲輪の遺構は、堅堀の間を横移動するのを防ぐ為の遺構である。また北に向けて掘られた堅堀と合わせて北尾根に対して、ここで遮断線を構築している。菩提山城が竹中氏時代に再築した際に、岩手氏時代の北尾根曲輪群を捨てたと考えられる。』との説明が先生からされた。



中井先生の説明を聞く参加者

台所曲輪へと戻り、南の三の曲輪③へと移動する。三の曲輪と南側にある出曲輪④との間には大堀切⑦が構築されている。一同ロープを頼りに大堀切へと下り、更に腰曲輪を経て出曲輪南下へと下る。そこには畝状堅堀と堀切が複雑に組み合わされた見事な遺構で、『これら大堀切や堅堀群などの嚴重な防御施設は、南の尾根伝いに近江勢の進攻を想定したことがよく分かり、菩提山城が戦国時代後半の最も発達した構造を示す城だ。』と先生から説明があった。



ロープを使い大堀切へ下る参加者

見どころ満載であった菩提山城をあとに1時間かけて下山。バスの出発予定時間が迫る中、竹中氏の菩提寺である<sup>ぜんとうじ</sup>禅幢寺と江戸時代に竹中重門が築いた岩手陣屋(竹中氏陣屋)の櫓門から陣屋跡の周囲に残る土塁や堀等の遺構を中井先生に案内して頂いて見学した。



大堀切

帰阪するバスの出発時間の制約もあり少し駆け足となりましたが、参加者全員誰一人怪我することなく無事に下山することが出来ました。大阪からバスで参加された皆様、また現地集合で参加された皆様、本当にお疲れ様でした。

今回で中井先生が案内講師を務めて頂く見学会は最後となります。40年の長きに亘って12月に近江の城を中心に案内頂いた中井先生、本当にありがとうございました。先生、機会がありましたら、また何かお願いすることがあるかもしれませんが、その節はよろしく願います。



岩手陣屋(竹中氏陣屋)櫓門

報告 中西 徹

## 日本古城友の会

会長 中西 徹

事務局 事務局長 平川 大輔

HPアドレス <https://www.kojyo-tomonokai.com/>

編集・発行 編集部長 下岡 力